

ASUS AI Suite II

AI Suite をインストールする.....	2
AI Suite を使う	2
インターフェースのカスタマイズ	5
DIGI+ VRM	7
DIGI+ VRM 設定オプション	7
BT GO!	10
BTデバイスの接続	12
他のBTデバイスで同じ機能を使用する.....	12
Shot & Send.....	13
BT Transfer	14
Folder Sync.....	15
Personal Manager.....	16
BT to Net	18
Music Player	20
BT Turbo Remote	21
TurboV EVO	34
TurboV	34
Auto Tuning	37
EPU	39
FAN Xpert.....	41
Probe II.....	42
Sensor Recorder	47
Monitor	50
Sensor	50
CPU Frequency	50
Update	51
ASUS Update	51
ASUS MyLogo.....	54
System Information	56

ASUS AI Suite II

ASUS AI Suite では各種ASUSユーティリティを簡単に起動することができます。

AI Suite をインストールする

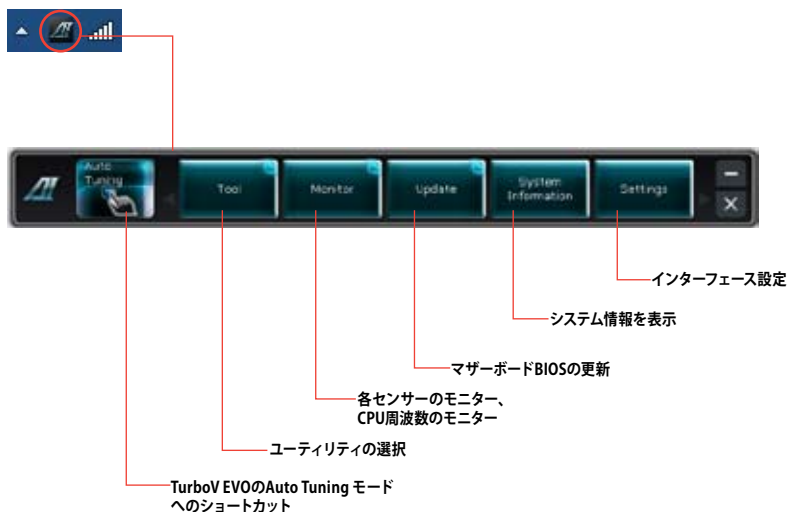
手順

1. サポートDVDを光学ドライブに入れます。OSの自動再生機能 (Autorun) が有効になっていれば、ドライバーメニューが表示されます。
2. 「Utilities」タブ→「AI Suite II」の順にクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。

AI Suite を使う

AI Suite II はWindows®OSを起動すると自動的に起動し、AI Suite II アイコンがWindows® のタスクトレイに表示されます。このアイコンをクリックすると、AI Suite II メインメニューバーが表示されます。

使用するユーティリティのボタンをクリックし起動します。システムのモニタリング、マザーボード BIOS の更新、システム情報の表示、AI Suite II のカスタマイズ設定等がご利用いただけます。



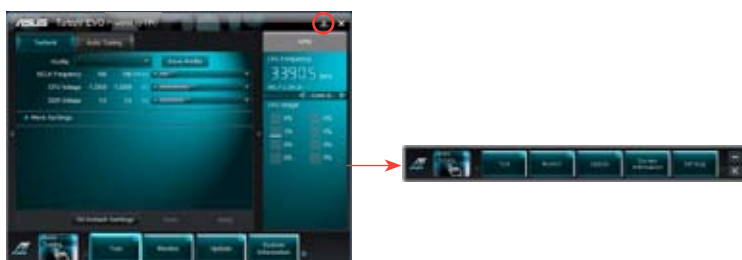
- Auto Tuning ボタンはTurboV EVO機能搭載モデルにのみ表示されます。
- 利用できるアプリケーションはモデルにより異なります。
- 本マニュアルに記載の図は参考用です。モデルやソフトウェアのバージョンにより実際の画面とは異なる場合がございます。

その他の機能ボタン

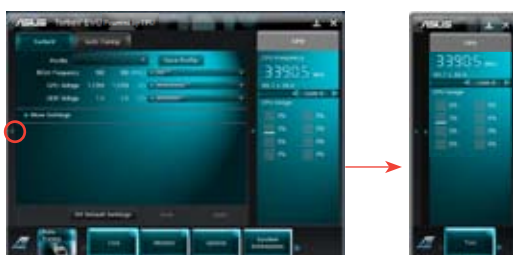
- をクリックすると、メインメニューバーはWindows デスクトップのサイドに最小化表示されます。表示を元に戻すには、画面端に最小化されたタブをクリックします。



- 画面の右上の■をクリックすると、メインメニューの表示形式をバー表示に切り替えることができます。






- ・ メインオペレーションエリア左側のマークをクリックすると、画面中央のメインオペレーションエリアを非表示にすることができます。



メインオペレーションエリア右側のマークをクリックすると、画面右側のシステム情報エリアを非表示にすることができます。



- ・  をクリックすると、メインメニューが閉じられタスクトレイに格納されます。Windows のタスクトレイには AI Suite II のアイコン  が表示され、AI Suite II はバックグラウンドで動作します。
- ・ AI Suite II を完全に閉じるには、Windows タスクトレイの AI Suite II アイコン  を右クリックして表示されるメニューの「Exit」を選択します。

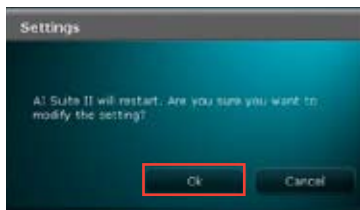
インターフェースのカスタマイズ

メインメニューバーから「Settings」をクリックすると、メインメニューバーの設定、スキンのカスタマイズが可能です。

Application

メインメニューバーに表示させるアプリケーションを選択します。

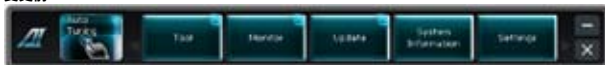
1. メインメニューバーに表示させたい項目のチェックボックスにチェックを入れ、「Apply」をクリックします。
2. 「Ok」をクリックしてAI Suite IIを再起動し、設定変更を適用します。



上下にスクロールし
非表示部分を表示

3. 新しい設定が適用されます。

変更前



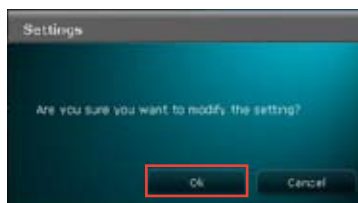
変更後



Bar

メインメニューバーの設定を行います。

1. 「**Auto hide**」にチェックを入れ、自動的にメニューバーが非表示になるまでの時間を設定します。
2. 「**Apply**」をクリックし、設定を適用します。

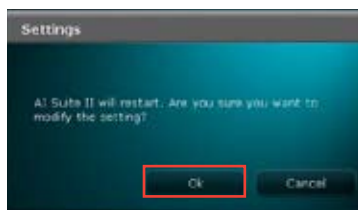


「Auto hide」機能は、バー表示でのみ動作します。

Skin

インターフェースの明るさ、彩度、色相、ガンマ等の設定が可能です。

1. 各項目のスライダーを移動し、設定を変更します。
2. 「**Apply**」をクリックし、設定を適用します。



DIGI+ VRM

ASUS DIGI+ VRMは、VRM電圧とCPUの周波数を調節し、安定性を強化します。また、非常に優れた電力効率を実現し発生する熱を最小限に抑えますので、コンポーネントの寿命を延ばし、電力消費を抑えます。

サポートDVDからAI Suite IIをインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「**Tool**」→「**DIGI+ VRM**」の順にクリックします。



DIGI+ VRM 設定オプション

DIGI+ VRM Load-line Calibration

ロードラインはIntel VRMの仕様により定義され、CPU電圧に影響します。CPU動作電圧はCPUの負荷に比例して変化します。高負荷時のロードラインキャリブレーションは、電圧を上げ最適なオーバークロックパフォーマンスが得られるように動作します。この時、CPUとVRMの発熱量は増加します。

- **Regular:**0%
- **Medium:**25%
- **High:**50%
- **Ultra:**75%
- **Extreme:**100%



- 実際のパフォーマンスはお使いのCPUの仕様により異なります。
- サーマルモジュールやサーマルセンサーを取り外さないでください。正常に動作するためには各所の温度状態を常にモニタリングする必要があります。

DIGI+ VRM CPU Current Capability

オーバークロック用に電力の設定範囲を広げます。設定値を上げることで、より高いVRM電力を設定することが可能になります。

設定値を上げることで、オーバークロック用に電力の設定範囲を広げます。



オーバークロック時、またはCPUの負荷が大きい場合は、設定値を高くすることを推奨いたします。

DIGI+ VRM Frequency

周波数を切り替えることで、VRM過渡応答とコンポーネントの温度を調節します。周波数を高く設定すると、過渡応答が速くなります。

「**Spread Spectrum**」を有効にすると、システムの安定性が向上します。

- VRM固定周波数の範囲: 300–500kHz
- 周波数の手動調節単位: 10kHz



「**Manual**」モードに切り替えているときは、サーマルモジュールやサーマルセンサーを取り外さないでください。各所の温度状態は常にモニタリングする必要があります。

DIGI+ VRM Phase Control

フェーズ数は、動作中のVRMフェーズの数です。システム負荷が大きい環境でフェーズ数を増やすと、過渡応答と伝熱性能が向上します。システム負荷が小さい環境でフェーズ数を減らすと、VRM効率が上がります。

- **Standard**: CPUコマンドに応じて、フェーズをコントロールします。
- **Optimized**: ASUSが提供する最適なフェーズ調整用のプロファイルをロードします。
- **Extreme**: フルフェーズモードを実行します。
- **Manual Adjustment**: 段階的に手動でフェーズ数を調整します。



- より良いパフォーマンスのために、Manual Adjustment 選択時には「**Ultra Fast**」を選択することを推奨いたします。「**Regular**」を選択した場合、反応速度は「**Ultra Fast**」と比べて遅くなります。
- 「**Extreme**」モード/「**Manual**」モード選択時には、サーマルモジュールやサーマルセンサーを取り外さないでください。正常に動作するためには各所の温度状態を常にモニタリングする必要があります。

DIGI+ VRM Duty Control

各VRMフェーズの電流、各フェーズコンポーネントの放熱システムを調節します。
オプション「[T.Probe]」を選択するとVRM伝熱（熱バランス）の維持が、[Extreme] を選択するとVRM電流バランスの維持が可能です。

- **T.Probe:**伝熱（熱バランス）
- **Extreme:**電流バランス



サーマルモジュールやサーマルセンサーを取り外さないでください。正常に動作するためには各所の温度状態を常にモニタリングする必要があります。

BT GO!

Bluetooth 接続で、Bluetooth (BT) デバイスとマザーボードを接続し、ファイル転送、ファイルの同期、音楽の再生、カレンダーの同期、遠隔操作等をアシストするツールです。このソフトウェアは、Windows® 7のみをサポートします。また、ご利用頂けます機能はご使用のBluetoothデバイスにより異なります。

BT GO! を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「BT GO!」の順にクリックし、BT GO! を起動します。

BT GO! を使用する



BTデバイスの設定




- ・ ■と■をクリックし、デバイスリストをスクロールします。
- ・ 接続をしたいBTデバイスのアイコンを選択します。選択すると、選択したデバイスがサポートする機能を自動的に検索します
- ・ 接続をしたいBTデバイスのアイコンを再度クリックし、ペアリングを開始します。

BTデバイスの削除





- ・ 選択したデバイスを削除するには、BTデバイスアイコンを右クリックし、「Remove」を選択します。
- ・ 選択したBTデバイスのサポートする機能を再検索するには、選択したデバイスのアイコンを右クリックし、「Rescan available functions」を選択します。



- BTデバイスアイコンの前に  が表示される場合は、そのBTデバイスはコンピューターとペアリングされているが、信号が弱い、またはBluetoothデバイスが通信接続されていない状態です。

機能の選択



-  と  をクリックし、機能リストをスクロールします。
- 表示されたアイコンのいずれかを選択し、機能の有効/無効を設定します。

Shot & Send: ホストコンピューターの画面をキャプチャーし、接続したBTデバイスに転送します。

BT Transfer: ホストBTデバイスに保存したファイルを接続した別のBTデバイスと共有します。

Folder Sync: 選択したフォルダーを、BTデバイスとコンピューターとの間でフォルダーを同期します。

Personal Manager: 連絡先とカレンダーを、BTデバイスとコンピューターの間で同期します。

BT to Net: BTデバイスのネットワークを共有し、BTデバイスのネットワークでインターネットに接続します。

Music Player: BTデバイス内の音楽ファイルをコンピューターのスピーカーで再生します。



デザリング機能をサポートしていないデバイスやスマートフォン、スマートフォンのOSやバージョンによっては、一部機能をご利用いただけない可能性があります。予めご了承ください。

- 「**Shot & Send**」、「**BT Transfer**」、「**Folder Sync**」の機能を接続したデバイスで初めて使用する場合、デフォルトのフォルダーを設定する必要があります。



BTデバイスの接続

1. コンピューターに接続するBTデバイスのBluetooth 機能をONにします。
2. BT GO! のメイン画面にある、「Search Device」をクリックします。
3. デバイスリストから、接続するBTデバイスを選択し、ペアリングを行います。



- 「BT GO!」はWindows® 7 用ソフトウェアです。Windows® 7 以外での動作は保証しておりません。
- 「BT GO!」の使用中は、他のBluetooth アプリケーションを全て閉じてください。
- BT GO! でBTデバイスが検出できない場合は、BTデバイスがONになっていることを確認した後、再度Search Device ボタンを押してください。
- 「BT Turbo Remote」を使用するには、事前にホストコンピューターに「Mobilink ユーティリティ」を、BTデバイスやスマートフォンに「BT Turbo Remote ユーティリティ」をインストールする必要があります。
- iPhoneなどのiOSデバイスは「BT Turbo Remote」のみをサポートします。(iPhone、iPad touch および iPad 互換 iOS 3.0 以降が必要)
- 利用できる機能は接続したデバイスによって異なります。

他のBTデバイスで同じ機能を使用する

接続中のBTデバイスで使用している機能を他のBTデバイスでも使用する場合は、次の手順に従って設定を行ってください。ここでは「Shot & Send」を例として説明します。

1. BTデバイスリストから、新たに接続するBTデバイスを選択し、ペアリングを行います。
2. 「Shot & Send」アイコンをクリックします。接続中のBTデバイスが通知されます。デバイスが正しいことを確認し、「OK」をクリックします。



3. 現在の設定を新たに接続したBTデバイスで使用する場合は「OK」をクリックします。設定が反映され、新たに接続したBTデバイスで「Shot & Send」機能が使用できるようになります。

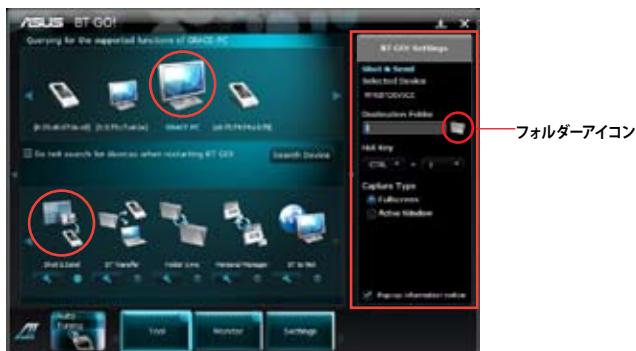


Shot & Send

ホストコンピュータの画面をキャプチャーし、接続したBTデバイスに転送します。

Shot & Sendを使用する

1. デバイスリストから、この機能を使用するBTデバイスを選択します。
2. 「Shot & Send」アイコンをクリックし、この機能を有効にします。



3. デフォルトの保存先フォルダーは、「Shot & Send」、「BT Transfer」、「Folder Sync」のいずれかを初めて使用したときに設定したフォルダーです。保存先のフォルダーを変更するには、フォルダーアイコンをクリックし、他のフォルダーを指定します。
4. 画面をキャプチャーする際に使用する「Hot Key」コンビネーションを選択します。
5. 「Fullscreen」、「Active Window」からキャプチャータイプを選択します。Active Windowは現在選択しているウィンドウです。
6. 選択したホットキーを押し、画面をキャプチャーします。デバイスリストのアイコンに転送中のマークが表示されます。
7. データを受信するBTデバイスに接続許可の要求メッセージが表示されます。要求を許可し転送を開始します。
8. この機能を無効にするには、「Shot & Send」アイコンを再度クリックします。



ファイルの転送中は、設定を変更しないでください。

BT Transfer

ホストBTデバイスに保存したファイルを接続した別のBTデバイスと共有します。

BT Transferを使用する

1. デバイスリストから、ホストとなるBTデバイスを選択します。
2. 「BT Transfer」アイコンをクリックします。
3. デフォルトの保存先フォルダーは、「Shot & Send」、「BT Transfer」、「Folder Sync」のいずれかを初めて使用したときに設定したフォルダーです。
4. BT GO! Settings 画面最上部のフォルダーアイコンをクリックし、転送するファイルを選択します。キーボードの<Ctrl>キーを押しながらマウスでファイルを選択すると複数選択が、<Shift>キーを押しながら選択すると範囲選択が可能です。
5. Target Device 1 のドロップダウンリストから転送先デバイスを選択し、フォルダーアイコンをクリックしてデバイスの保存フォルダを指定します。複数転送先デバイスがある場合は、個々に設定をします。



Target Device のドロップダウンリストには、コンピューターとペアリングされ、FTP機能をサポートするデバイスのみが表示されます。

6. 設定が完了したら、「BT Transfer」アイコンをクリックし転送作業を開始します。



7. 次のような画面が表示され、ファイルの転送状況が表示されます。



Folder Sync

選択したBTデバイスとコンピューターとの間でフォルダーの同期とバックアップをします。



Folder Sync を実行すると、古いデータは新しいデータに上書きされます。この機能を使用する前に、同期するデバイス内のデータをバックアップすることをお勧めします。

Folder Sync を使用する

1. デバイスリストから、同期させるBTデバイスを選択します。
2. 「Folder Sync」アイコンをクリックします。
3. デフォルトの保存先フォルダーは、「Shot & Send」、「BT Transfer」、「Folder Sync」のいずれかを初めて使用したときに設定したフォルダーです。保存先のフォルダーを変更するには、フォルダーアイコンをクリックし、他のフォルダーを指定します。
4. BT GO! Settings 画面で、「Backup」「Sync」から実行する機能を選択します。
5. 同期モードを選択します。「Remote->Local」はBTデバイスからコンピューターに、「Local->Remote」はコンピューターからBTデバイスに同期を行います。
6. フォルダーアイコンをクリックし、BTデバイスとコンピューターの同期フォルダを指定します。「Device folder」はBTデバイスの、「Local folder」はコンピューターのフォルダーを指定します。
7. 設定が完了したら、「Folder Sync」アイコンをクリックし、作業を実行します。



8. 次のような画面が表示され、ファイルの転送状況が表示されます。



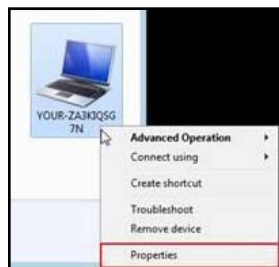
Personal Manager

連絡先とカレンダーを、BTデバイスとコンピューターの間で同期します。

Personal Manager をBTデバイスで有効にする

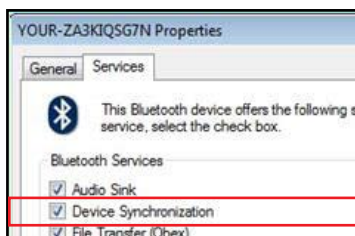
お使いのBTデバイスがPersonal Manager をサポートしているかは、以下の方法でご確認いただけます。

1. コンピューターにBTデバイスをペアリングさせ、コンピューターのコントロールパネルから「**Hardware and Sound**」→「**Devices and Printers**」→「**Bluetooth Devices**」の順にクリックします。
2. BTデバイスアイコンを右クリックし、「**Properties**」を選択します。

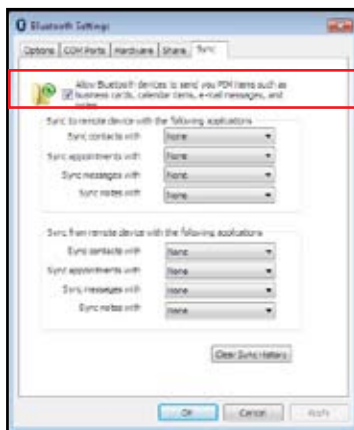


3. 「**Device Synchronization**」にチェックが入っていることを確認し、「**Service**」タブをクリックします。

この項目がリストに表示されない場合は、お使いのBTデバイスでは Personal Manager 機能を使用できません。



4. Windows タスクトレイからBluetoothアイコンをクリックし、「**Open Settings**」を選択します。
5. 「**Sync**」タブをクリックし、ダイアログボックス上部にある項目にチェックを入れ、BTデバイスと同期する項目を選択します。
6. 同期する項目のドロップダウンリストを選択したら、「**OK**」をクリックします。
7. データを受信するBTデバイスに接続許可の要求メッセージが表示されます。要求を許可し転送を開始します。



Personal Manager を使用する

1. デバイスリストから、同期させるBTデバイスを選択します。
2. お使いのBTデバイスで**Personal Manager**が使用できる場合は、BTデバイスのBluetooth設定でSync 機能を有効にしてください。
3. 「**Personal Manager**」アイコンをクリックし、同期作業を実行します。



4. 次のような画面が表示され、ファイルの転送状況が表示されます。



BT to Net

BTデバイスのネットワークを共有し、BTデバイスのネットワークでインターネットに接続します。



- BTデバイスがインターネットに接続されていること、共有設定が完了していることをご確認ください。
- コンピューターとBTデバイスは同じローカルエリアネットワーク内にいる必要があります。

BT to Netを使用する

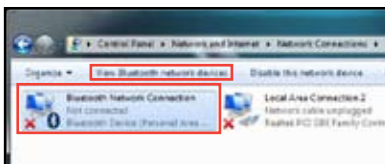
- デバイスリストから、ネットワークを共有するBTデバイスを選択します。
- 「BT to Net」アイコンをクリックします。



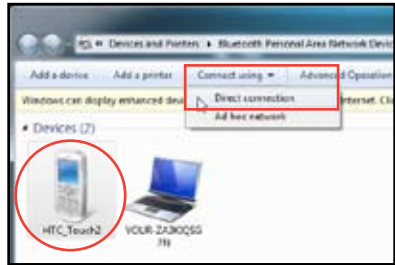
- 次のような画面が表示されます。内容を確認し「OK」をクリックします。



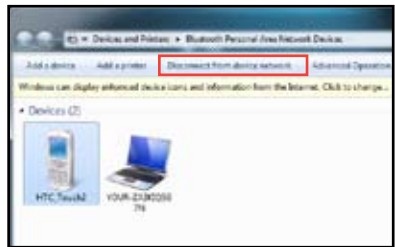
- Windows Network Connection ウィンドウが表示されます。「Bluetooth Network Connection」→「View Bluetooth network devices」の順にクリックします。



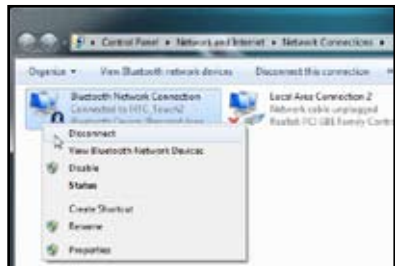
5. 「Bluetooth Personal Area Network Devices」ウィンドウが表示されます。BTデバイスアイコンをクリックし、「Connect using」→「Direct connection」の順にクリックします。



6. Bluetooth ネットワーク接続が構築されると、Connect using タブが「Disconnect from device network」タブに変わります。



BT GO!の「BT to Net」アイコンをクリックして「Network Connections」ウィンドウを開き、「Bluetooth Network Connection」の接続状態を確認する事もできます。



7. 接続を解除するには、「Bluetooth Personal Area Network Devices」ウィンドウでネットワーク接続が構築されたデバイスを選択し「Disconnect from device network」タブをクリックするか、「Network Connections」ウィンドウで「Bluetooth Network Connection」を選択し「Disconnect this connection」タブをクリックします。

Music Player

BTデバイス内の音楽ファイルを、コンピューターのスピーカーで再生します。

Music Playerを使用する

1. デバイスリストから、この機能を使用するBTデバイスを選択します。
2. 「**Music Player**」アイコンをクリックします。



3. ポップアップウィンドウが表示されます。「OK」をクリックします。



4. BTデバイスに接続許可の要求メッセージが表示されます。要求を許可しこの機能を使用するための準備をします。
5. BTデバイスに保存されている音楽ファイルを開きます。
6. コンピューターの画面に次のような音楽プレーヤーコントロールパネルが表示されます。



7. この機能を無効にするには、「**Music Player**」アイコンを再度クリックします。



Windows® Mobile OS のBTデバイスで「Music Player」を使用するには、「Wireless Stereo」機能を有効にする必要があります。

BT Turbo Remote

BT接続したスマートフォンをリモコンとして使用し、システムのオーバークロック設定/モニタリングやシステム電源スイッチなどを遠隔操作します。また、メディアプレイヤーのリモコンとして使用することもできます。



- 「BT Turbo Remote」機能はWindows® 7/Vistaをサポートします。Windows® 7/Vista以外での動作はサポートしておりません。
- BT Turbo Remote は現在、Android、Windows Mobile、Symbian を使用しているスマートフォン、iPhone などのiOS デバイスをサポートしています。(iPhone、iPod touch および iPad 互換 iOS 3.0 以降が必要)
- iPhone ご使用の場合は、「BT Turbo Remote」ユーティリティを「App Store」からダウンロードしてください。
- 「BT Turbo Remote」のインターフェースはスマートフォンのプラットフォームにより異なります。

BT Turbo Key

スマートフォンを使用し、遠隔操作でシステムのオーバークロック設定、電圧や温度などのモニタリングを行います。

オーバークロック



モニター：電圧

Voltage	Temperature	Fan Speed	Frequency
Vcore	0.99200	[M]	
+3.3V	3.32800	[M]	
+5V	5.01700	[M]	
+12V	12.03300	[M]	

モニター：温度

Voltage	Temperature	Fan Speed	Frequency
CPU	37	[°C]	
MB	42	[°C]	

モニター：ファンスピード

Voltage	Temperature	Fan Speed	Frequency
CPU	1618	[RPM]	

モニター：周波数

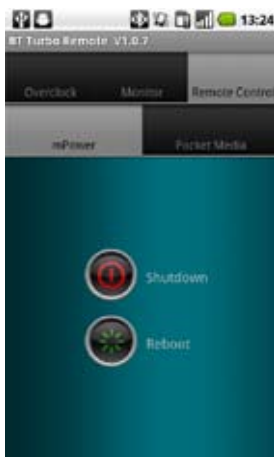
Voltage	Temperature	Fan Speed	Frequency
Core 0	803.4	[MHz]	
Core 1	803.4	[MHz]	



デザリング機能をサポートしていないデバイスやスマートフォン、スマートフォンのOSやバージョンによっては、一部機能をご利用いただけない可能性があります。予めご了承ください。

Reset/Off

スマートフォンを使用し、遠隔操作でシステムのシャットダウン、再起動を行います。



Pocket Media

スマートフォンをWindows® Media Player のリモコンとして使用します。



はじめて「Pocket Media」機能を使用すると、コンピューターに、Windows Media Playerで「ASUS」という名前のプレイリストの作成を促すポップアップメッセージが表示されます。

プレイリストを作成しなかった場合、「**Pocket Media**」機能を使用するには、毎回手動でWindows Media Playerを開く必要があります。

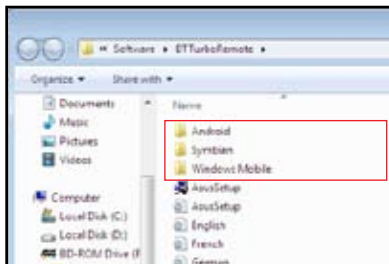


コンピューターとスマートフォンのBluetooth 接続設定

必要なユーティリティをインストールする

「BT Turbo Remote」を使用する前に、スマートフォンに「BT Turbo Remote」ユーティリティを、コンピューターに「Mobilink」をインストールする必要があります。これらユーティリティをインストール後、コンピューターとスマートフォンのペアリングを行います。

1. マザーボードのサポートDVDから「Utilities」→「ASUS BT Turbo Remote」の順に選択し、ご使用のスマートフォンOSのフォルダーにあるファイルを使用して、スマートフォンに「BT Turbo Remote」をインストールします。



2. マザーボードのサポートDVDから「Utilities」→「ASUS AI Suite II」→「ASUS Mobilink」の順に選択し、遠隔操作を受けるコンピューターに「Mobilink」をインストールします。なお、最新バージョンは弊社サイトで公開しております。
(<http://support.asus.com>)



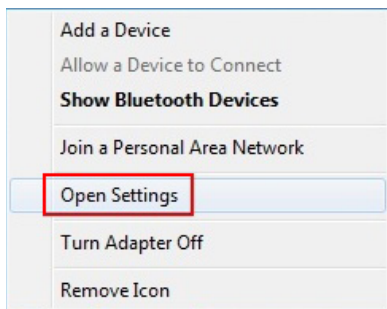
Bluetooth リンク経由の標準シリアル (仮想COMポート) を構築する

コンピューターとスマートフォンの間で通信を行うには、仮想COMポートをコンピューターに構築する必要があります。



お使いのコンピューターで仮想COMポートを自動的に構築できない場合は、次の手順で手動で構築してください。

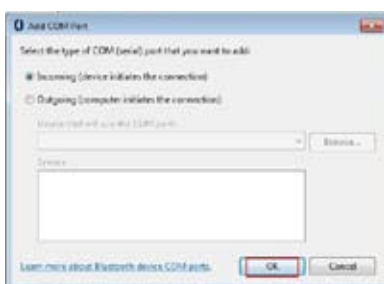
1. Windows タスクトレイからBluetooth アイコンをクリックし、「Open Settings」を選択します。



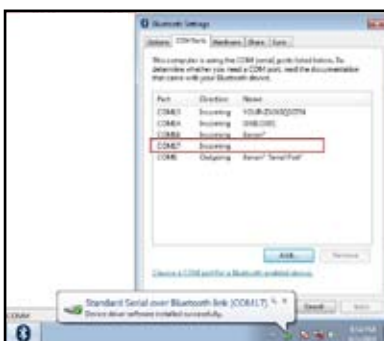
2. 「COM Ports」タブをクリックし、「Add」を選択して仮想COMポートを構築(追加)します。



3. COMポートのタイプは「Incoming」に設定します。



4. 仮想COMポートが構築(追加)されました。



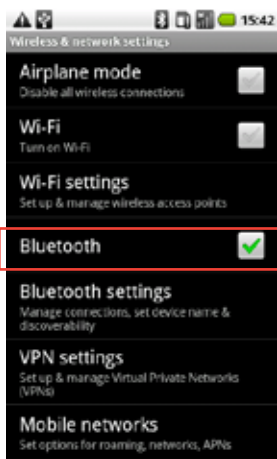
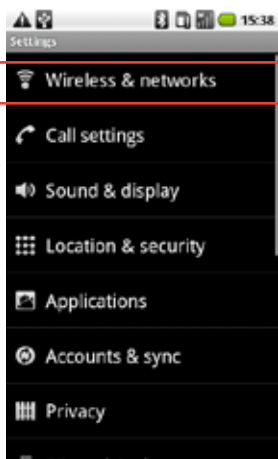
スマートフォンとコンピューターのペアリングを行う



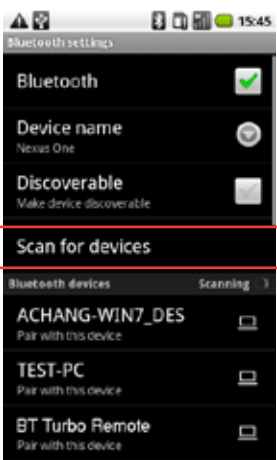
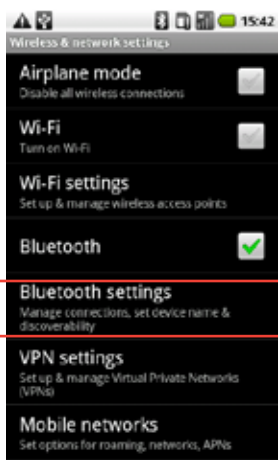
本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。設定手順はスマートフォンの製造元、モデルにより異なる場合があります。お使いのスマートフォンに付属の説明書等も併せてお読みください。

Android システム

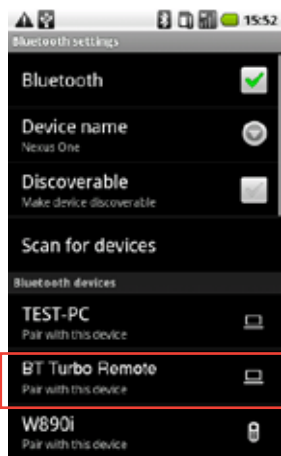
1. 「Settings」の「Wireless & networks」を選択します。
2. 「Bluetooth」を有効にします。



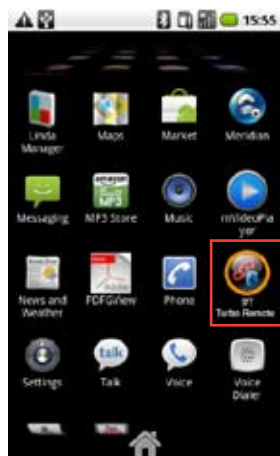
3. 「Bluetooth settings」を選択します。
4. 「Scan for devices」を選択します。



5. ホストコンピューター（お使いのコンピューター名）を選択し、ペアリングを行います。

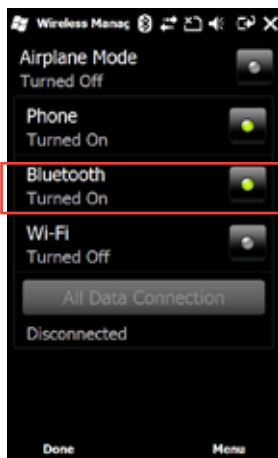
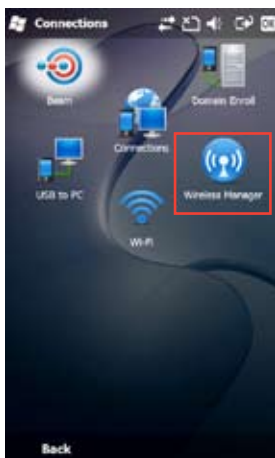


6. プログラムメニューから「BT Turbo Remote」を実行します。

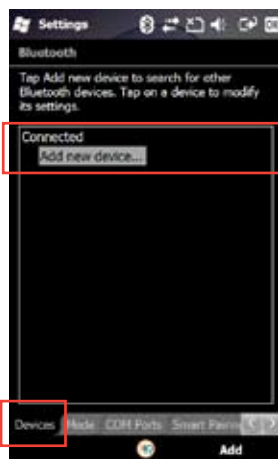


Windows® Mobile システム

1. 「Wireless Manager」を選択します。
2. 「Bluetooth」を有効にします。



3. 「Bluetooth」を選択します。
4. 「Devices」タブから「Add new device」を選択します。



5. ホストコンピューター(お使いのコンピューター名)を選択し「Next」を選択します。



6. パスワードが必要な場合は、「000000」と入力し「Next」を選択します。



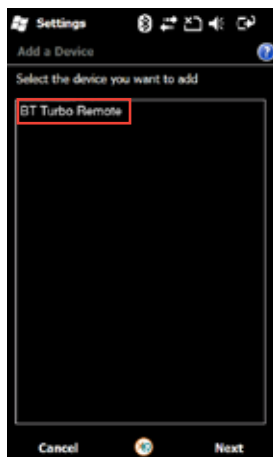
7. ホストコンピューターと電話機のペアリングが終了したら、「Done」をクリックします。



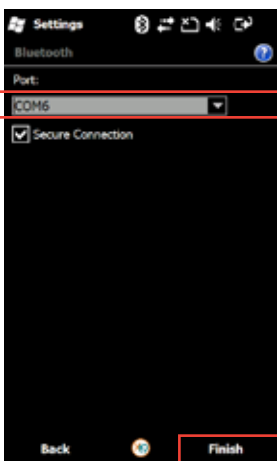
8. 「COM Ports」タブで「BT Turbo Remote」用の「New Outgoing Port」を作成します。



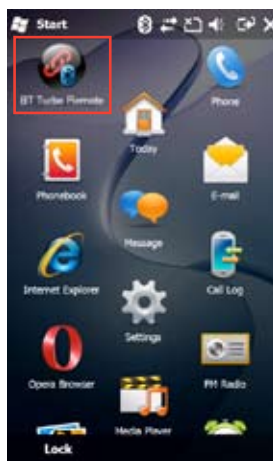
9. ホストコンピューターを選択し「Next」を選択します。



10. BT Turbo Remote用のCOMポートを選択し、「Finish」を選択します。

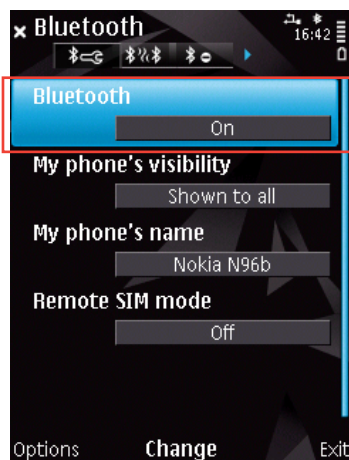
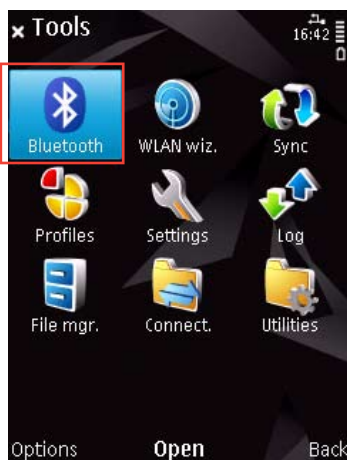


11. プログラムメニューから「BT Turbo Remote」を実行します。

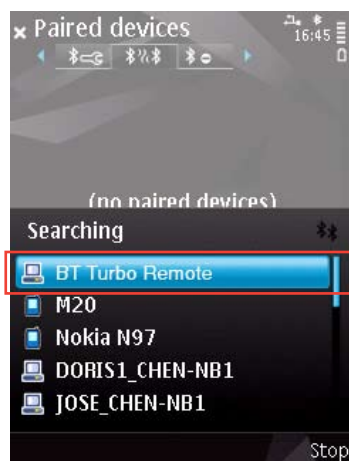
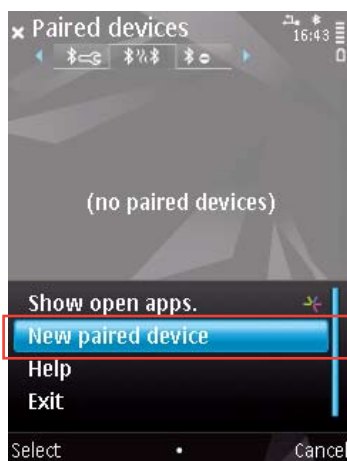


Symbian システム

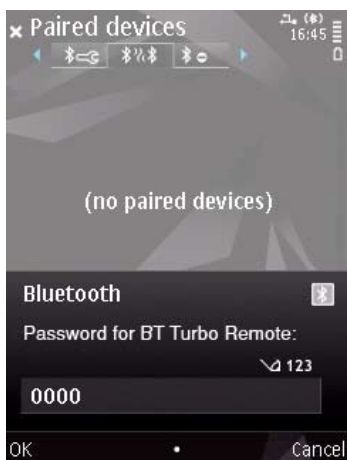
1. 「Tools」の「Bluetooth」を開きます。
2. 「Bluetooth」を有効にします。



3. 「New paired device」を選択します。
4. ホストコンピューター(お使いのコンピューター名)を選択します。



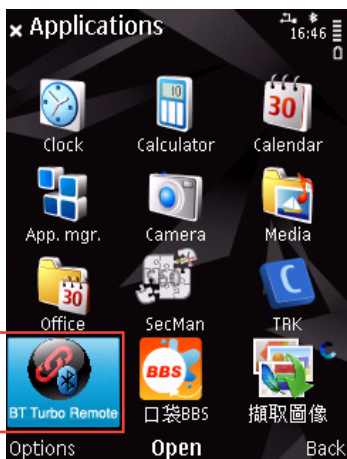
5. パスワードとして「000000」と入力します。



6. 自動認証を行う場合は、「Yes」を選択します。



7. 「Applications」の「BT Turbo Remote」を起動します。



iPhone などのiOS システム

1. App Store で「**BT Turbo Remote**」を検索し、iPhone にインストールします。(ここではデバイスを iPhone として説明します)。



2. iPhone で「**Settings**」→「**General**」→「**Network**」→「**Internet Tethering**」の順にタップします。「**Internet Tethering**」を有効にし、ダイアログが表示されたら「**Turn on Bluetooth**」をタップします。



3. 「**General**」→「**Bluetooth**」に戻ります。後で PIN の入力とペアリングを行いますので、このページを開いた状態にしておきます)。



4. Windows タスクトレイから Bluetooth アイコンをクリックし、「**Add a device**」を選択します。
5. iPhone がコンピュータに検出されます。「**iPhone(または、お使いの iPhone 名)**」を選択し、「**Next**」を選択します。
6. 「**iPhone(または、お使いの iPhone 名)**」を右クリックし、「**Connect**」を選択します。



7. iPhoneでPINコードを入力し、「Done」をタップします。同じPINコードをコンピューターに入力し、「Pair」をクリックし接続します。ペアリングが成功すると、デバイスリストにコンピュータの名前が表示されます。



テザリング（インターネットテザリング）が、iPhone の一番上に表示されていることを確認してください。表示されてない場合は、前の手順を繰り返し、再度接続してください。

8. 「Yes」をクリックし、デバイスを接続します。



9. Windows FirewallがBluetooth接続をブロックする場合があります。「Allow access」をクリックし接続を完了します。



Bluetoothの接続画面や手順は、ご利用のBluetoothデバイスやOSにより異なります。Bluetoothデバイスとの設定方法やペアリングの方法については、iPhone/iPadの取扱説明書もご覧ください。



テザリング機能をサポートしていないスマートフォンをご使用の場合、本機能はご利用いただけません。予めご了承ください。

PINコードは、パスコード、パスキー、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。

TurboV EVO

ASUS TurboV EVOには、CPU周波数と関連する電圧値を調節できるTurboV機能、オーバークロックとシステムのレベルアップが自動的にできるAuto Tuning 機能が搭載されています。AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「TurboV EVO」の順にクリックし、TurboV EVOを起動します。

TurboV

TurboV は、ベースクロック周波数、CPU電圧、IMC電圧、DRAM バス電圧をWindows 環境で調整することができるツールです。設定変更はすぐに適用されます。



CPU電圧の調節を行う前にCPUに付属の説明書や仕様書を必ずご確認ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。



システム安定のため、ASUS TurboVで行った設定変更はBIOSには保存されず、次回起動する際にも適用されません。設定変更のオーバークロック設定を保存するには、「**Save Profile**」機能で設定をプロファイルとして保存し、Windows の起動後にそのプロファイルを手動でロードしてください。

Auto Tuning モード

TurboV EVO Powered by EVO

Auto Tuning

TurboV プロファイルを読み込み変更

現在値

詳細設定の表示切り替え

設定をデフォルトに戻す

現在の設定を新しいプロファイルとして保存

電圧調節バー

設定を適用しない

設定を適用する



より効果的にオーバークロック設定を行うには、まずBIOS項目の設定変更を行い、その後TurboVで微調整を行うことをお勧めします。

Advanced モードを使用する

「More Settings」→「Advanced Mode」タブをクリックし、電圧の詳細設定を行います。



GPU Boost

GPU Boost は統合型 iGPU をオーバークロックし、最高のグラフィックパフォーマンスを実現します。

1. 「More Settings」→「GPU Boost」タブの順にクリックします。
2. iGPU エンジンクロックと iGPU 電圧を調節すると、システム再起動が必要です。変更を適用するには、表示される確認メッセージで「Yes」をクリックし、システムを再起動します。



GPU Boost は特定モデルのみの搭載です。

CPU Ratio

手動でCPU動作倍率を調節します。



この機能を初めて使用される場合は、BIOS Setup プログラムで「**AI Tweaker**」→「**CPU Power Management**」で「**Turbo Ratio**」の項目を「**Maximum Turbo Ratio setting in OS**」にするか、CPU Ratio 機能画面のONボタンをクリックしてCPU動作倍率の設定を有効にしてください。

1. 「**More Settings**」→「**CPU Ratio**」タブの順にクリックします。
2. 「**ON**」ボタンをクリックし、CPU Ratio 機能を有効にします。



3. 設定変更を行うと、システム再起動が必要です。変更を適用するには、表示される確認メッセージで「**Yes**」をクリックし、システムを再起動します。
4. 調節バーを上下に移動させ、数値を設定します。



- TurboVのCPU Ratio 機能を使用する前に BIOS Setup プログラムで「**CPU Ratio Setting**」の項目を「**Auto**」にしてください。詳細はユーザーマニュアルのChapter 3 をご参照ください。
- CPU Ratio の調節バーにはCPUコアの状態が表示されますが、表示内容はCPUのモデルにより異なります。

Auto Tuning

ASUS TurboV EVO には便利な 2 つの自動調節モードがあります。



- オーパークロックの効果は、CPUモデルとシステム構成により異なります。
- オーバーヒートによるマザーボードの故障を防ぐため、冷却システムの増強を強くお勧めします。

- **Fast Tuning**: CPUをオーパークロック
- **Extreme Tuning**: CPUとメモリーをオーパークロック

Fast Tuning

1. 「**Auto Tuning**」タブをクリックし、「**Fast**」をクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「**OK**」をクリックします。続いて自動オーパークロックが始まります。



3. TurboVは自動的にCPUをオーパークロックし、BIOS設定を保存し、システムを再起動します。Windows が起動すると、作業完了メッセージが表示されますので、「**OK**」をクリックし設定を終了します。



Extreme Tuning

1. 「**Auto Tuning**」タブ→「**Extreme**」の順にクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「**OK**」をクリックします。続いて自動オーパークロックが始まります。



3. TurboVは自動的にCPUとメモリーをオーバークロックし、システムを再起動します。Windows が起動すると、現在のオーバークロックの結果が表示されます。この結果をキープするには「**Stop**」をクリックします。



4. 「**Stop**」を選択しなかった場合、TurboVは自動的に更なるシステムオーバークロック設定と安定性のテストを実行し、オーバークロックの経過を示す画面が表示されます。オーバークロック作業をキャンセルするには、「**Stop**」をクリックします。



5. TurboVは自動的に調節を行い、BIOS設定を保存し、システムを再起動します。Windows が起動すると、作業完了メッセージが表示されますので、「**OK**」をクリックし設定を終了します。



EPU

EPUは電力管理をアシストするツールで、システムの多様な電力要求に応えます。このユーティリティには複数のモードがあり、システム電源を抑えることができます。「Auto」を選択するとシステムの状態に応じてモードを自動的に選択します。また、各モードは詳細設定も可能で、CPU周波数やGPU周波数、vCore 電圧、ファンコントロール等の設定が可能です。

EPUを起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「EPU」の順にクリックします。



- 「From EPU Installation」を選択すると、EPUをインストールした時点からのCO2削減量が表示されます。
- 「From the Last Reset」を選択すると、[Clear] ボタンをクリックしてからCO2削減量が表示されます。

EPUの設定

EPUコントロールパネルから「Configurations」をクリックすると、各モードの設定オプションが表示されます。なお、淡色表示のオプションは設定できないオプションです。



詳細設定の設定オプション

オプションの内容は以下のとおりです。

- **vCore Voltage Downgrade:** CPU vCore 電圧を下げます。
 - **Extreme:** 電圧を大きく下げ、CPUの電力を抑えます。
 - **High:** 電圧を下げ、CPUの電力を抑えます。
 - **None:** この機能を無効にします。
- **Chipset Voltage Downgrade:** チップセット電圧を下げます。
 - **Light:** チップセット電圧を下げます。
 - **Heavy:** チップセット電圧を大きく下げます。
- **Turn Off hard disks:** ハードディスクドライブでデータ送受信が行われなくなってから一定時間経過すると、ハードディスクドライブの電源をOFFにします。
- **Fan Control:** ファンスピードを調節し、システム電力とノイズを抑えます。
 - **Quiet:** CPUファンスピードを下げ、ケースファン2基の回転を止めます。
 - **Keep BIOS Setting:** BIOSメニューのファンコントロール機能の設定を維持します。
 - **Slow:** CPUファンとケースファン2基のスピードを下げます。
- **Turn Off Screen:** システムのアイドルリング状態が一定時間経過すると、ディスプレイの電源をOFFにします。

FAN Xpert

ASUS Fan Xpert は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンのスピードを調節することができます。予め設定されたオプションから設定を選択することにより、ファンスピードを臨機応変にコントロールすることができます。

FAN Xpert を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「**Tool**」→「**Fan Xpert**」の順にクリックします。

FAN Xpert を使用する

「**Fan Name**」の項目でファンを選択し、「**Setting**」の項目で予め設定されたモードを選択します。



ファンの設定

- **Disable**: Fan Xpert 機能を無効にします。
- **Standard**: 標準的なファンスピードに設定します。
- **Silent**: ファンスピードを最低限に抑え、ノイズの低減を優先させます。
- **Turbo**: ファンスピードを最大にし、冷却を優先させます。
- **Intelligent**: CPUファンスピードを環境温度に応じて自動調整します。
- **Stable**: CPUファンスピードを一定に保ち、スピードの切り替えによるノイズを抑えます。ただし、温度が70℃を超えた場合は、ファンのスピードを自動的に加速します。
- **User**: ユーザープロファイルを定義します。

Probe II

PC Probe II は、重要なコンピューターのコンポーネントを監視し、問題が検出されると警告するユーティリティです。ファン回転数、CPU温度、システム電圧を中心に監視します。このユーティリティで、コンピューターをいつでも正常に動作させることができます。

Probe IIを起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Tool」→「Probe II」の順にクリックします。

Probe IIの設定

Voltage/Temperature/Fan Speedタブのいずれかをクリックし、センサーを有効にして、センサーのしきい値を設定します。「Preference」タブでは警告センサーの間隔のカスタマイズ、温度単位の変更が可能です。



設定を保存

保存した設定を
ロード

各センサーのデフォルトの
しきい値をロード

変更を適用

Voltage

このタブにはシステムのセンサーが確認した現在の電圧値と設定したしきい値が表示されます。電圧値が設定したしきい値を下回ると、モニターパネルまたはポップアップメッセージでユーザーに警告を表示します。



Temperature

このタブにはシステムのセンサーが確認したCPUとマザーボードの現在の温度と、設定したしきい値が表示されます。CPUとマザーボードの温度が設定したしきい値を上回ると、モニターパネルまたはポップアップメッセージでユーザーに警告を表示します。



Fan Speed

このタブには、現在のCPUファン、ケースファン、電源ファンの回転数 (rpm) と、設定したしきい値が表示されます。ファンの回転数が設定したしきい値を下回ると、モニターパネルまたはポップアップメッセージでユーザーに警告を表示します。



Preference

このタブでは、ポップアップウィンドウを有効にする、検出サイクルの間隔、温度の表示単位などの設定ができます。



Pop-up Window センサーが検出した値が、設定したしきい値を超える/下回る場合、警告ポップアップウィンドウを表示します。

Cycle Detection センサーが特定のコンポーネントを監視する時間の間隔を設定します。デフォルトは「5秒」に設定されています。

Temperature Unit 温度の単位を摂氏(°C)、または華氏(°F)から選択します。ラジオボタンを選択して単位を切り替えると、表示単位は自動的に切り替わります。

Alert Log

このタブには、センサーが検出した数値と状態が検出時間とともに全て表示されます。ログをクリアするには、「Clear」をクリックします。



Voltage

このタブには各システム電圧の状態が表示されます。



Temperature

このタブにはCPU温度とマザーボードの温度が表示されます。



Fan Speed

このタブには、CPUファン、ケースファン、電源ファンの回転数 (rpm) が表示されます。



History Record

このタブでは、システム内の各種センサーのログを記録することができます。



記録機能を使用する

1. センサーのタイプを選択し、ログを記録するセンサーを選択します。
2. 記録する間隔と時間を選択します。
3. 「**Start recording**」をクリックし記録を開始します。記録を停止するには、実行中に再度「**Recording**」をクリックします。

記録履歴の編集

- 「**Data**」の項目で日付を指定して、履歴を表示させます。
- 履歴を削除するには、「**Data**」項目の横に表示される ■ をクリックします。

Monitor

Sensor とCPU Frequency の2つのパネルがあります。



Sensor

ファン回転数、CPU温度、電圧等のシステムセンサーの現在値を表示します。AI Suite II メインメニューバーの「**Monitor**」→「**Sensor**」をクリックし、Sensor パネルを開きます。

CPU Frequency

現在のCPU周波数、CPU使用状況を表示します。AISuiteIIメインメニューバーの「**Monitor**」→「**CPU Frequency**」をクリックし、CPU Frequency パネルを開きます。

右画面 (システム情報)



Sensor パネル



CPU Frequency パネル



Update

ASUSの更新ユーティリティで、マザーボードのBIOS更新と、BIOSブートロゴの変更が可能です。



ASUS Update

ASUS UpdateはWindows環境でマザーボードのBIOSを管理、保存、更新するユーティリティです。以下の機能を実行することができます。

- ・ インターネットから直接BIOSを更新する
- ・ インターネットから最新のBIOSファイルをダウンロードする
- ・ 最新のBIOSファイルにBIOSを更新する
- ・ マザーボードのBIOSファイルを保存する
- ・ BIOSのバージョン情報を表示する



ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。

BIOS更新

1. AI Suite II メインメニューバーの「Update」→「ASUS Update」をクリックします。
2. BIOSをインターネットまたはBIOSファイルから更新します。次の手順に従い、BIOS更新を行います。

インターネットを通してBIOSを更新する

- a) オプションリストから、「Update BIOS from Internet」→「Next」の順にクリックします。
- b) ダウンロードを実行するFTPサイトを選択します。BIOSダウングレード機能とBIOS自動バックアップ機能を有効にする場合は、それぞれのボックスにチェックを入れます。



- c) ダウンロードしたいBIOSバージョンを選択し、「Next」をクリックします。



BIOSファイルからBIOSを更新する

- a) オプションリストから、「Update BIOS from file」→「Next」の順にクリックします。



- b) 「Browse」をクリックしコンピューターに保存されているBIOSファイルを指定し、「Next」をクリックします。



3. POST時に表示されるBIOSブートロゴを変更する場合は、「Yes」をクリックします。この設定を行わない場合は「No」をクリックしBIOSの更新を続行します。

「Yes」を選択した場合は、次の手順に従ってください。

- a) 「Browse」をクリックしブートロゴに使用する画像を指定し、「Next」をクリックします。
- b) 「Resolution」スライダーを移動して画像の解像度を調節します。「Auto Adjustment」をクリックすると自動的に調節されます。



- c) 「Bootling Preview」ボタンをクリックすると、POST時に表示する画像のプレビューが表示されます。プレビュー画面でマウスをクリックすると、設定画面に戻ります。
- d) 設定を変更したら、「Next」をクリックします。



- e) 「Flash」をクリックし、マザーボードのBIOS更新を行います。画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。



4. 「No」をクリックした場合は、「Flash」をクリックしマザーボードのBIOSを更新します。画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。



ASUS MyLogo

ASUS MyLogo はBIOSブートロゴをカスタマイズするツールです。BIOSブートロゴはPOST時に表示される画像です。以下の機能を実行することができます。

- 現在のBIOSブートロゴを変更する
- ダウンロードしたBIOSファイルのBIOSブートロゴを変更し、BIOSを更新する
- ダウンロードしたBIOSファイルのBIOSブートロゴを変更し、そのBIOSを更新しない



BIOSブートロゴを表示するには、BIOS項目「Full Screen Logo」を [Enabled] にする必要があります。詳細はユーザーマニュアルのセクション「Boot Settings Configuration」をご参照ください。

BIOSブートロゴを変更する

1. AI Suite II メインメニューバーの「Update」→「MyLogo」をクリックします。

2. オプションの中から1つ選択し、「Next」をクリックします。

- Change the BIOS boot logo of my motherboard (マザーボードのBIOSブートロゴを変更する)
- Change the boot logo of a downloaded BIOS file and update this BIOS to my motherboard (ダウンロードしたBIOSファイルのBIOSブートロゴを変更し、BIOSを更新する)
- Change the boot logo of a downloaded BIOS file (But do not update this BIOS to my motherboard) (ダウンロードしたBIOSファイルのBIOSブートロゴを変更するがBIOSは更新しない)



ダウンロードしたBIOSファイルの変更オプションを選択する際は、事前にASUS UpdateでBIOSファイルをダウンロードしコンピューターに保存してください。

3. BIOSブートロゴに使用する画像を指定し、必要に応じてダウンロードしたBIOSを指定し、「Next」をクリックします。



4. 「**Resolution**」スライダーを移動して画像の解像度を調節します。「**Auto Adjustment**」をクリックすると自動的に調節されます。
5. 「**Booting Preview**」ボタンをクリックすると、POST時に表示する画像のプレビューが表示されます。プレビュー画面でマウスをクリックすると、設定画面に戻ります。
6. 解像度の調整が完了したら、「**Next**」をクリックします。
7. 「**Flash**」をクリックし、画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。



System Information

マザーボード、CPU、メモリスロットの情報を表示します。



- 「MB」タブをクリックすると、マザーボード製造元、製品名、バージョン、BIOS等の詳細情報を表示します。



- 「CPU」タブをクリックすると、プロセッサ、キャッシュ等の詳細情報を表示します。



- 「SPD」タブをクリックし、メモリスロットを選択すると、そのスロットに取り付けたメモリの詳細情報を表示します。

